

# 国会審議で問題点が明らかに 共謀罪はきっぱり廃案に！

## 広範な国民の反対で継続審議に

第164通常国会では、共謀罪の新設法案が継続審議となりました。自民・公明与党は、圧倒的多数の議席を背景に、民主党修正案の「丸のみ」を含め、数度にわたり強行採決を策しました。しかしこれに対し、日弁連など法曹団体、日本ペンクラブをはじめとする表現者や市民団体や労働組合などが共同し、国会の内外で集会や街頭宣伝などを繰り広げました。その力が、マスコミを動かし、反対世論を急速に広げ、採決を阻止しました。

## 「まばたき」しても共謀が成立!?

共謀罪は、審議をすればするほど、その矛盾が明らかにされました。例えば、何をもって共謀が成立するかという質問に、法務省大林刑事局長は「まばたき」しただけで合意が成立すると答弁しました。野党議員からは、生理現象まで犯罪の成立要件になるのかと厳しく追及されました。

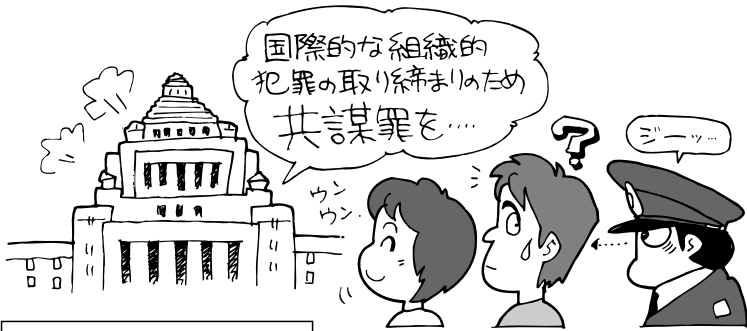
また、国会終盤には、政府が共謀罪制定の唯一の根拠としていた、「国際組織犯罪防止条約が批准のため」という主張についても、政府の翻訳が誤りであり、条約が必ずしも共謀罪の新設を求めていることが明らかにされました。

## 秋の臨時国会で廃案にしよう

共謀罪の真の狙いは、「戦争をする国」づくりのための憲法改悪や悪政に反対する国民の運動を監視し、その声を抑え込もうとするところにあります。

NHKの朝の連続ドラマ「純情きらり」では、日本が侵略戦争につきすすむ中で、治安維持法によって自由にものが言えない当時の状況が映し出されました。ドラマが決して過去のものとしてではなく、いまの日本の政治状況と重なります。

「共謀罪は戦前の治安維持法の再来だ」「冗談も言えない社会になる」などの声が広がっています。日本が再び自由にものが言えない社会にならないように、秋の臨時国会できっぱりと廃案にしましょう。



### 〈要請先〉

〒100-8960 千代田区永田町1-7-1

衆議院・河野洋平議長

\*衆議院で強行採決された場合は、

〒100-8961 千代田区永田町1-7-1

参議院・扇千景議長